

完了後の評価個表

整理番号 森4-1

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	岐阜県
地区名	郡上市	事業実施主体	岐阜県、郡上市、岐阜県森林公社、木曾三川水源造成公社、郡上森林組合等
関係市町村	郡上市	管理主体	岐阜県、郡上市、岐阜県森林公社、木曾三川水源造成公社、郡上森林組合等
事業実施期間	平成18年度～平成22年度(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 郡上市は、平成16年3月1日に郡上郡7町村が合併して誕生した。岐阜県のほぼ中央部に位置し、東部は下呂市、北部は高山市、西部は関市、福井県大野市、和泉村、南部は美濃市及び関市に接している。海拔110mから1,810mまで高低差が大きく、清流「長良川」をはじめ多くの河川の源流域となっており、北部には位山分水嶺を有している。</p> <p>② 森林の状況 本地区の森林面積92,621ha（森林率90%）のうち、民有林面積は89,933haで森林全体の97%を占めている。民有林の人工林面積は49,851ha（人工林率55%）で、人工林の7割がⅢ齢級からⅣ齢級であり、間伐等の森林施業を必要としている。 また、20,337haが水源かん養保安林、11,494ha土砂流出防備保安林に指定されているなど、森林の有する公益的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 本地区では、計画的な間伐の推進、長伐期施業、複層林施業の実施が喫緊の課題であるが、木材価格の低迷等に伴い、森林所有者の施業意欲が減退し、森林の有する多面的機能の高度発揮が懸念される状況にあった。 このため、森林環境の保全に資することを目的として、計画的に間伐等の森林施業を推進し、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、人工造林、下刈、間伐等の森林整備を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 人工造林 141.65ha、下刈 934.97ha、雪起し 348.33ha、除伐 511.51ha、枝打ち 668.87ha、間伐 5,501.00ha、ぬき伐り 0.16ha、誘導伐 12.18ha、不用木除去 7.68ha、機能増進保育 3,996.12ha、作業道整備 49,908.1m</p> <p>総事業費 2,731,443千円 (当初総事業費 4,005,961千円)</p>
----------	---

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 事業期間（現在）の施業を標準伐期施業から、長伐期施業に転換したことをふまえて分析した結果、事業採択時に比べて総費用、便益が増加した。</p> <table border="0"> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>121,554,353千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>68,052,964千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td>13,891,872千円</td> <td>(事業採択時</td> <td>6,254,248千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B/C)</td> <td>8.75</td> <td>(事業採択時</td> <td>10.88)</td> </tr> </table>	総便益 (B)	121,554,353千円	(事業採択時	68,052,964千円)	総費用 (C)	13,891,872千円	(事業採択時	6,254,248千円)	分析結果 (B/C)	8.75	(事業採択時	10.88)
総便益 (B)	121,554,353千円	(事業採択時	68,052,964千円)										
総費用 (C)	13,891,872千円	(事業採択時	6,254,248千円)										
分析結果 (B/C)	8.75	(事業採択時	10.88)										
② 事業効果の発現状況	<p>事業着手時に3万3千haあったⅢ～Ⅳ齢級の人工林のうち、整備を必要としていた約1万2千haの森林において間伐等の森林施業が計画的に行われたことにより、森林資源の充実及び森林環境の改善がなされ、公益的機能の高度発揮に期待が持てる森林が整備された。</p>												
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業により整備した森林については、森林所有者自ら、又は、森林所有者から経営受託した森林組合等が適正に管理を行っており、下刈り等、その後の保育施業を適切に実施している。</p>												
④ 事業実施による環境の変化	<p>計画的な間伐等の実施により、不用木の除去や不良木の淘汰等が適切に行われ、明るく健全な、公益的機能の高い林分に改善された。</p>												
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地区内に大型製材工場が建設されたことで、木材の需要が伸び、それとともに森林施業の意欲が増進されてきている。そのような中で、持続的な森林経営と間伐や主伐による素材生産増大にむけて、地域が一体となって取り組んでいる。</p>												
⑥ 今後の課題等	<p>事業完了時から5年が経過し、郡上市内の資源構成上のピークとなるⅦ～ⅩⅠ齢級の人工林蓄積量は事業開始時の約850万m³から1,147万m³へと充実してきている。これらの利用期を迎えた森林資源を活用し、持続的な森林経営を実現していく必要があるが、木材価格の低迷等もふまえ、森林施業の集約化や路網整備を通じた低コスト化を図り、計画的な森林整備を一層推進していく必要がある。</p> <p>(地元の意見) ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地災害防止といった公益的機能の高度発揮に寄与しているものと考え。(岐阜県)</p>												

整理番号

森4-2

評価結果

- ・必要性： 森林整備が計画的に実施されたことにより、森林の持つ公益的機能の高度発揮に寄与していることから、事業の必要性が認められる。
- ・効率性： 森林整備については、喫緊の課題である利用間伐を優先的に実施していることから、事業の効率性が認められる。
- ・有効性： 適切な森林施業の実施により、森林の有する公益的機能の高度発揮、維持・増進に寄与していること、さらに、持続的で低コストな森林経営に向け、地域をあげた取り組みにつながっていること等から、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名： 森林環境保全整備事業

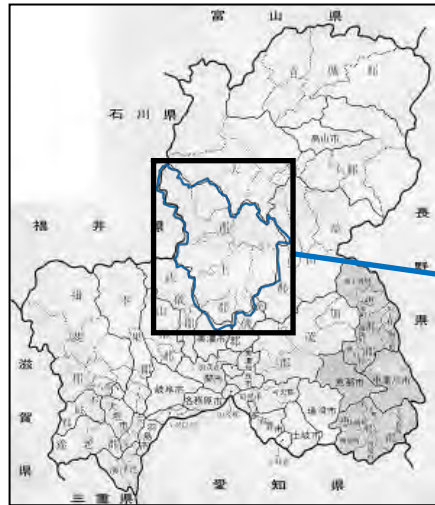
都道府県名： 岐阜県

地域(地区)名： ^{ぐじょうし}郡上市

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	38,731,178	
	流域貯水便益	12,343,366	
	水質浄化便益	27,345,462	
山地保全便益	土砂流出防止便益	27,558,349	
	土砂崩壊防止便益	2,776,290	
環境保全便益	炭素固定便益	6,841,942	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	5,957,766	
総 便 益 (B)		121,554,353	
総 費 用 (C)		13,891,872	
費用便益比	$B \div C = \frac{121,554,353}{13,891,872} = 8.75$		

森林環境保全整備事業 郡上市地区(岐阜県) 概要図



 森林整備位置

